



消防団員の入団を  
募集しています

山陽小野田市消防団は、市内全域を管轄するため消防分団を各小学校区に配備しており、消防団員が『自らの地域は自らが守る』という郷土愛の精神のもとに、地域に根ざした消防団活動を実施しています。

現在、消防団は『きらりと光る魅力ある消防団』として再編するため、消防団員の入団募集を行っています。

みなさんが住んでいる山陽小野田市が、『明るく安全で住み良い街』となるには、若いあなたの力がが必要です。あなたのボランティア精神をぜひ消防団活動に役立ててみませんか？



■入団資格について

- 郷土愛に満ちあふれ、地域防災に熱意を持っている人
- 18歳以上40歳以下で健康な人
- 市内に居住している人

■問い合わせ先

〒756-0815 山陽小野田市高栄一丁目6番1号  
消防本部総務課 (☎ 83-2037)

えがおのまち 7

「消さないで 命という名の 希望の灯」

上記の標語は、昨年度の山陽小野田市人権教育啓発作品コンクール標語の部で、最優秀賞に選出された作品(吉岡知里さんの作品)です。

この標語には、「『命』は『希望の灯』です。だからその『灯』を消さないで」という強い願いが込められています。

『希望』とは、こうなってほしい、また、こうありたいと願う望むことです。この願いは、私たちが、将来に向かって生きていくうえで、エネルギーの一つとなるものだと思います。

『灯』とは、人々に明るさや温かさを与えてくれますが、繊細なものでもあります。少しの風が吹けば揺らぎ、ついには消えてしまうのです。そこで、私たちは、この灯りを消さないために、風をさえぎる工夫をします。

この『希望の灯』が、周囲の人の心ない言動や、差別や偏見による人権侵害によって、危機にさらされている現状はないでしょうか。今、まさに、一人ひとりの『希望の灯』を囲んでいる人たちが、手を取り合って風よけになることが必要ではないかと思えます。人権問題を正しく理解し、人権感覚を磨き、一人ひとりの『希望の灯』が、空に向かって力強く光輝くことができる地域社会になっていくことを期待します。(社会教育課)

理大 つうしん 25  
<http://www.yama.tus.ac.jp>

～平成18年度学位記授与式～

3月18日(日)、本学で平成18年度学位記授与式が挙行政され、基礎工学部電子・情報工学科92名、物質・環境工学科63名、大学院基礎工学研究科16名に対し、学位記が授与されました。塚本桓世学長は、式辞で「常に良心あるエンジニア、科学者として物事に取り組み、努力を怠らないようにお願いしたい。サイエンスという素晴らしい広がりのある言葉を冠し、またその理念を掲げる本学で学び、過ごしたことを誇りにしながら、皆さんにとってのよりよきサイエンスを追求していただきたい。」と述べ、祝福の言葉を贈りました。



また、卒業生を代表し、電子・情報工学科の神山祥太郎さんは「本学で充実した学生生活を送ることができたのは皆様方の支えがあったお蔭で、感謝の念に耐えられません。この四年間の学生生活で学んだことを糧に、険しい壁を乗り越え、その壁の向こうにある未来へと歩いていく所存です。」と謝辞を述べました。

最後に出席者全員で校歌を斉唱し、卒業生の新たな門出を祝福しました。盛大な拍手とともに見送られた卒業生たちは、皆誇らしげに笑みを浮かべ、新たな世界へと力強く旅立っていきました。